

三苦海岸(磯観察会フィールド)



2005年4月9日(土)、マリンワールド海の中道主催による第8回海岸調査研究会が、三苦海岸で開催されました。磯観察会の目的は、磯が自然学習に最適な自然の水族館であることを市民にもっと知っていただくこと、親子で自然に出て学習する機会をつくること、観察会後も家族で磯に出るきっかけをつくることです。

開会式



当日は地震の影響により急遽場所を変更したにも関わらず、13家族45名が集まりました。

集合会場は磯から歩いて5分程度の公民館で、1時間ほど開会式、講話、ゲームを行いました。講話では、若いスタッフが磯での楽しみ方や注意事項等を説明し、子供だけでなく、親も磯の魅力にひきこませる熱心な演説が印象的でした。

連想ゲーム用プラカード



磯に入る前に、プラカードを使った連想ゲームを行いました。プラカードは観察するフィールドに見られる生物を対象としています。皆の好きな食べ物から生物を連想させるところが非常におもしろいです。連想ゲームを通して、グループ内の親睦、磯の生物への好奇心を深めます。

磯観察会



観察中は、各班1～2名のスタッフが同行し、スタッフの先導のもと磯の生物の観察・採集を行います。各班で色分けしているバンダナは、班としての意識を高める他、目印として、現場での参加者の把握に役立っています。

スタッフは生物発見のコツを指導し、参加者が積極的に磯に触れるように促し、採集した生物の名前や特徴等をその場で説明します。初めて見る生物に親子いっしょになって声をあげて楽しんでいる様子が見られました。

観察された生物



最初は生物を手で触れることに抵抗を示していた子供達も次第に慣れていき、積極的に触るようになりました。

この日最も珍しい生き物はツツノオトシゴでした。水族館以外で見たことある人は少ないはずです。

磯環境への配慮のため、観察中に動かした岩場は戻すように、また、捕まえた生物は逃がすようにしています。満潮の一時間前には磯からひきあげます。

まとめ記録シート

☆いそで見た生きもの☆

生きもののなまえ

さわったかんじなど、気がついたこと



磯観察後、各家族でまとめ記録シートを作成しました。公民館にプリンターを用意しており、磯場で撮影したお気に入りの生物の写真を、その場で印刷して配布するところが非常におもしろいです。家族にとって大変思いで深い記録となります。

参加者は磯場での体験に基づき、生物を見て、触って感じたことを自由に記録します。

参加者のアンケートでは、参加者全員から磯の観察会が楽しかったという回答をいただきました。様々な生物を見つけたこと、その場で生物名を教えてくれたことというのが多数をしめていました。このことから、磯観察会が「市民が磯場に足を運ぶ切っ掛け作り」に大きく貢献したと言えます。